

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

今月のねらい

- しいのみ 秋の自然の発見を楽しみ、戸外で十分に身体を動かしてあそぶ。
- たんぽぽ 身近な秋の自然や生き物と触れ合う。
- みず 秋の自然に触れながら、散歩や戸外で身体を動かしてあそぶことを楽しむ。
- かぜ 友だちや保育者と一緒に、簡単なルールのあるあそびを楽しむ。
- そら 色々なあそびを通して、自分の力を発揮し、達成感を感じる。
- たいよう



10月の行事

- 11日(土) 運動会《予備日18日(土)》
(かぜ・そら・たいよう組)
- 24日(金) お誕生会
- 27日(月) 避難訓練(消防署立ち合い)



諸費請求お知らせ

27日(月)

エンペイ支払い期日
27日(月)~29日(水)

2025年度



10月園だより

秋の気配を感じる季節となりました。

10月は秋晴れの空のもと、運動会や園外保育、散歩等体をたくさん動かし、自然に触れて過ごしたいと思います。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、ご家庭でも気をつけてください。

お誕生日おめでとう



園外保育(お弁当いります)

17日(金) かぜ組

23日(木) そら・たいよう組

※日中暑い場合は、熱中症等の心配もあるので園外保育を短縮し、保育園でお弁当を食べる場合があります。

※お弁当は中身を冷ましてから詰めて蓋をしてください。水滴が食中毒の原因になります。

念のため、保冷剤も入れておいてください。



赤い羽根募金

玄関に赤い羽根募金を設置しています。(設置期間10月1日~31日)
地域活性活動のためのご協力をお願いします。

お願い

現在、登降園時に使用されている赤い紐のついたカードケースを首からかけていただくようお願いします。

円町まぶね隣保園の保護者と、それ以外の方を判別するためです。
カードケースが新たに必要な方は職員室にお声掛けください。
(1枚75円です)



円町まぶね隣保園
京都市中京区西ノ京北円町50
TEL (075) 462-8829
携帯 (080) 4625-9085(緊急用)
(080) 4625-9065

今月のみことば

「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです。」
ペトロの手紙Ⅰ 4章10節

子どもたちは、いつも自分の好きなことに夢中です。そして好きなことは得意なことになっていきます。「ねえ、見て見て!こんなことできるよ!」と笑顔で見せにきてくれます。

神さまは子どもたち一人ひとりに生まれた時から贈り物を与えてくれています。

「かみさまからのおくりもの」

(こぐま社/ひぐち みちこ)

という絵本の中で5人の赤ちゃんが生まれます。それぞれの赤ちゃんに神さまから遣わされた天使が贈り物を携えてやって来ます。5人の赤ちゃんにはそれぞれ「よくわらう」「ちからもち」「うたがすき」「よくたべる」「やさしい」という贈り物が与えられ、それぞれの贈り物を喜んでいる姿が描かれています。

今月の聖句の後には「善い管理者として賜物を生かして互いに仕え合いなさい」と続きます。

現代社会はお互いが比較し合い、優劣の狭間で自分の心のバランスをとっています。他人より劣っていることや出来ないことばかりに目を向けることで知らず知らずのうちに自信をなくし不安感が増してしまいます。

そうではなく神さまは、お互いに助け合うようにと全ての人に贈り物を与えてくださっています。他人と比べることよりも自分の中にある贈り物に感謝し、大切にすることで、平和の方向に舵を切ることができます。

神さまから自分に与えられた贈り物は何でしょうか? どのように使うことができるでしょうか?

園長 沼津 孝治

苦情解決委員会

苦情解決責任者	沼津 孝治
苦情受付担当者	松尾 恵美
第三者委員	花岡 尚樹 畑 健次郎 酒井 咲子